

カヌーでさんぽ 参加者募集 ～解説付き！カヌーでめぐる内部河川～

旧中川「川の駅～ふれあい橋(往復)」をカヌーで散策します。カヌーを漕ぎながらポイントで解説を聞き、周辺の歴史を学びます。カヌーを漕ぐのが初めての方には、事前カヌー講習をご用意します。

時 ★本番 10/25(日) 13:00～15:30

★事前カヌー講習 9/20(日)

①13:00～14:00 ②14:15～15:15のいずれか1回に参加
※時間はこちらで決めさせていただきます。経験者は免除できます。お問合せください。

場 旧中川・川の駅～ふれあい橋(往復4キロ)
※事前カヌー講習は川の駅周辺で実施します。

対 大人14名(体力に自信のある方)

¥ 3,600円(保険代含む)
※事前カヌー講習免除の場合
2,650円(保険代含む)

師 大島カヌー散歩倶楽部
久染健夫(歴史研究家)

申 電話・窓口で(先着順)

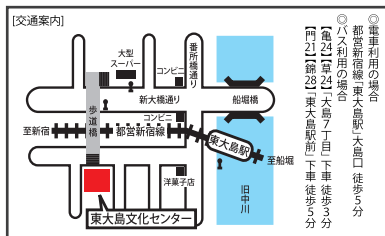
8/10(月・祝)9:00より受付開始



公益財団法人
江東区文化コミュニティ財団
江東区東大島文化センター

TEL. 03-3681-6331
FAX. 03-3636-5825

〒136-0072 江東区大島 8-33-9 (地図参照)
休館日: 第1・3月曜日、ただし国民の祝日にあたる場合を除く



発行: 2020年8月



東大島文化センター ニュース

- index
- 1 東大島夏の一身体験教室
 - 2 囲碁イベント参加者募集
 - 3 ぶらり小名木川
 - 4 カヌーでさんぽ参加者募集

2020年8月23日(日) 東大島夏の一身体験教室

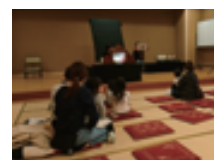
事前予約制の体験に加え、当日参加OKの体験も、盛りだくさん!

予約制 マークのあるものは事前申込み(先着順)が必要です。

当日受付 マークのあるものは当日直接おこしください。

予約制 おはなし会(よみきかせ)

時間: 13:00～15:00
定員: 20名
対象: 小学生以下
参加費: 無料
協力: 東大島図書館



当日受付 リングキャッチャーに挑戦

時間: 10:00～15:00
定員: 材料なくなり次第終了
対象: どなたでも
参加費: 無料
協力: 科学講座研究会 丹羽孝良



当日受付 マグネットで作るかんたん工作
しおりを作ってみよう!

時間: 10:00～15:00
定員: 材料なくなり次第終了
対象: どなたでも
参加費: 無料
協力: コレイマグネット株式会社



当日受付 ～むかし遊びが楽しい～おりがみ

時間: 10:00～15:00
定員: 材料なくなり次第終了
対象: どなたでも
参加費: 無料
協力: 亀戸折り紙ふじの会



このほかにもございます。詳しくはWEB・チラシをご覧ください。

東大島文化センター [検索](#)

～ご来場いただく皆様へ～

- ★ ご来館の前に検温し、マスクの着用をお願いします。
- ★ 咳エチケット、手や指を洗うなどの感染予防にご協力をお願いします。
- ★ 小学3年生以下は保護者同伴でご参加ください。
- ★ **当日受付** マークの体験は、参加当日に受付でお名前とご連絡先をお伺いします。



囲碁イベント レッツ・ゴー・囲碁

プロ棋士にチャレンジ！10面打ち対局 参加者募集

今年度は、恒例の囲碁大会が新型コロナウイルス感染症対策のため中止となり、囲碁イベントとして、指導碁（10面打ち）と囲碁サロンを行います。



加藤 充志プロ



巻幡 多栄子プロ

時 10/11日（日）10:00～15:30

場 レクホールほか

師 加藤 充志(日本棋院棋士九段)
巻幡 多栄子(日本棋院棋士四段)

申 東大島文化センター
大島8-33-9

☎03-3681-6331

FAX.03-3636-5825

**8/10(月・祝)
9:00より受付開始**

種別	加藤プロ10面打ち	巻幡プロ10面打ち	囲碁サロン (参加者自由対戦)
時間	①10:00～12:00 ②13:30～15:30	①10:00～12:00 ②13:30～15:30	①10:00～12:00 ②13:30～15:30
参加費	各1,000円		各300円
定員	各10名		各20名
申込	電話・窓口で (8/23(日)締切※応募者多数の場合は抽選)		電話・窓口で(先着順)

参加者は当日検温のうえ、マスク着用で対局いただきます。

●●●●●●●● ●●●●●●●●
楽しい一日にしましょう！
みなさまのご応募お待ちしております



小名木川リバーガイド倶楽部
会員 下山敦司

永代橋がライバル？万年橋の由来

万年橋は小名木川の第一橋梁で隅田川から分流する最初の橋である。創架年代は不明であるが延宝8年（1680）の江戸地図に「元番所の橋」と記載されているので、それ以前となろう。元禄11年（1698）創架の永代橋より18年以上先輩となる。但し当時、この橋に名前が無く、近くにあった船番所（寛文元年（1661）中川に移転）の名を借り元番所の橋と呼ばれていた。現在の「万年橋」となった経緯は一説によると「永代」を名乗る橋が公表されたからと言われる。鼻っ柱の強い下町町人は「てやんで一、向こうが永代なら こちとら万年だい」と言ったとか・・・で万年橋となったようだ。又、江戸名所の一つとされる浮世絵もある。北斎の「万年橋下」では太鼓橋の下から富士、広重の「万年橋」ではぶら下げた亀が描かれている。無論万年に引っ掛けたもので「※放生会」用に町人が買うものだった。

元禄15年（1702）12月15日吉良邸への討入りを果たした赤穂浪士が、この橋を渡り更に永代橋豊海橋を通って泉岳寺まで行ったと伝えられている。ここでも永代橋との繋がりが見える。因みにこの翌年元禄16年は深川不動堂に繋がる成田山の最初の出開帳が永代寺で行われている。集まった群衆もこの事件の話で持ち切りだった事だろう。

小名木川は家康が江戸に来て最初に手掛けた土木事業の一つで、目的は主に行徳塩田から塩を運ぶための運河だった。当時ほぼ海岸線だった湿地を埋め立て、或いは開削し、東西一直線の運河としたものだ。のちにこの運河は江戸の物流の要衝となり、江戸ひいては我国の発展に大きく貢献する事となる。家康の先見の明か。現在この運河には16の橋が架かっているが、当時は3橋万年橋・高橋・新高橋のみが小名木川に架かる橋であった。その頃は新高橋から東側は町場化されておらず故にあまり支障がなかったようだ。16橋の最後は東端の「番所橋」で前述の中川船番所のあった近くに架けられている。但し皮肉にも船番所があった時期に橋は無く、番所が無くなった後、昭和20年頃に架橋されたと聞く。

小名木川と、その両端の橋についてお話したが、無論その間の橋や両岸にもそれぞれの挿話がある。何時の日かお話してみたい。



◀歌川広重「名所江戸百景 深川万年橋」
(国会図書館蔵)

※放生会（ほうじょうえ） 殺生を戒め
自然に放すことで徳を積むための儀式。
亀は桶から這い出してしまうので、
持ち手から吊るされている。